

大河原ロータリー

クラブ会報

例会日：毎週木曜日 12時30分
 例会場：和洋亭 ぶざん
 柴田郡大河原町字新南25-18
 TEL 0224-51-1113

会長：村上 則夫
 副会長：樽見 正仁
 幹事：佐藤 能文
 副幹事：丸山 勝利
 広報・ICO
 委員長：津田 政行
 副委員長：岩間 範男
 委員：岡崎 隆・佐藤克美・高橋大志



2017～2018年度
 国際ロータリーのテーマ

**ロータリー：
 変化をもたらす**

**ROTARY:
 MAKING A
 DIFFERENCE**

2017-18年度 RI会長 イアン H.S. ライズリー

国際ロータリー第2520地区
 2017-2018年度ガバナー 藤崎三郎助

事務所：〒989-1224 大河原町金ヶ瀬字町17 TEL0224-51-1400 FAX0224-51-1188 info@rotary-ogawara.com

2018年3月29日(木)第2456回例会

会長あいさつ

会長 村上 則夫



皆さんこんにちは、本日も例会にご出席頂きまして誠にありがとうございます。
 そして本日はゲストスピーカーとして柴田町商工観光課の斎藤英泰課長さま、花のまち柴田のイベント開催実行委員会委員長の庄子和彦さま、ようこそお出で頂きました、後ほどスピーチ宜しくお願い致します。

今週の天気ですが毎日最高気温が 20 度を超えております、私の会社の前の桜も蕾がかなり膨らみまして、今日見て来ましたらかなりピンク色になっております、当初の開花予報ですと 4 月 5 日という事でしたが 4 月 2 日に早まりまして、私の予想ですと多分、明日少し雨が降る予報ですので、そうすると多分更に開花が早まり 4 月 1 日には咲くのではないかと思います、大河原の桜まつりは 4 月 5 日ですが、4 月の 1 週目には咲くのではないのかなと思っています、今朝庭を見ましたらツバメが飛んできました、今から多分巣作りが始まるのかなあと考えていて春の訪れをまた感じただけでした。

そして、先週の土曜日 50 周年の記念式典では、会員皆様のご協力のお陰で無事終了することが出来ました、高城実行委員長そして立石副委員長はじめ会員の皆様には大変お世話になりました、有難う御座いました。会員皆様の結束力と云うものをあらためて感じさせて頂きました、本当に私も感動致しました。そして、さとう宗幸さんのコンサートには本当に癒されました、式典で張りつめた空気があのコンサートで一扫されたという事で、さとう宗幸さん本当に有難う御座いました。そして立石さんにさとう宗幸さんをご紹介頂きまして、交友関係の広さを改めて感じました、本当にお世話様でした、私も思わず CD を買いました、私が出来た御礼はこれぐらいしか出来ないのでも CD を買って早速聴かせて頂きました、そして土曜日の式典・コンサート・懇親会、そして次の日は摂津ロータリークラブ様を歓迎するという事で、表蔵王ゴルフクラブで開催させて頂きました、私は開会式にだけ出席させて頂きましたが、当日 7 名の参加という事で、前日二次会三次会と行かれて 12 時半過ぎまで飲んでいたという事ですが、ちゃんと集合時間には武藤さん以外の方は間に合いましたプレーは 8 時 45 分にスタートできたという事で、スコアは皆さんそれぞれでありましたが、優勝が吉田会員、準優勝が摂津の望田さんという事で、望田さんからは翌日に連絡を頂きまして本当に有難う御座いました、素晴らしい 50 周年でしたという事でご連絡を頂いております。でも賞金を殆ど取ったのは八島幸夫会員という事も一応伺っておりました。それから 4 月の地区大会の事ですが、4 月 22 日仙台の国際センターに於きまして、今年の集大成という事で開催されます、その日は正に羽生結弦選手のオリンピックのパレードが当日行われます、多分 11 時ぐらいの開催だと思いますが、交通機関がかなり混雑します、ですので地区大会の方には JR と地下鉄は国際センターの前まで直通で行けますので、その地下鉄に乗って頂きますと遅れる事

なく集合できると思います、是非地区大会にご参加の皆様には公共交通機関を利用して集合して頂ければと思います、少し早く行くと羽生結弦選手のパレードも見られるのかなと思います、かなりの方が仙台に当日集まると思いますので、どうぞよろしく願いいたします。私からは以上でございます。ありがとうございました。

幹事報告

幹事 佐藤能文



改めまして皆さんこんにちは、本日も例会にご出席頂きましてありがとうございます。

来週の例会後に50周年記念の電波時計を設置した所で記念撮影をしますので例会終了後そちらに移動して頂ければと思います。あと私の方に連絡が届いて来ておりますが4月9日に大河原桜まつりの屋形船に乗船したいという事で丸森ロータリークラブと姉妹クラブの台湾ロータリークラブの方々が来てお世話になりますと連絡がありました。あとひとつは会長よりお話がありましたが、地区大会が国際センター11時受付になりまして、この件に関しましては後日FAXをさせて頂きませんが、10時10分発のJRで大河原を出発して、11時5分に国際センターに到着する事になります。以上報告を終わります。

各委員会の報告

米山BOXの報告 藤江 裕佳里 委員長

高橋英明会員 積立します。

スマイルBOXの報告 吉田 茂 会員

3月24日分の報告

村上則夫会員 50周年記念式典、会員の皆様大変ご苦勞様でした。

佐藤能文会員 皆様ご協力ありがとうございました、素晴らしい50周年式典でした。

八島幸夫会員 50周年おめでとうございます、グエン・ティ・イエンさん有難う御座います、頑張ってくださいね！

佐々木由美子会員 50周年おめでとうございます。

樽見正仁会員 50周年ご苦勞様です。

3月29日分の報告

高城英男会員 50周年盛大に終わる事が出来ました、ご協力ありがとうございました。

岡崎隆会員 誕生ケーキ美味しく頂きました、ありがとうございました。

武山雄二会員 創立50周年記念式典無事成功に終わりほっとしている事と思います、大変お疲れ様でした。

庄司大会員 村上会長、50周年記念式典お疲れ様で御座いました。

ゲストスピーカー斎藤様、庄子様例会へようこそ、宜しく願い致します。

小田部晃二郎会員 50周年記念式典欠席申し訳ありませんでした。例会は休まず出席致します。

立石博政会員 50周年記念ご苦勞様でした。宗さんのコンサートも良かったとの声が聞けて安心しました。宗さんから大河原ロータリアンの皆さまに宜しくお伝え下さいとメールが届きました。

佐藤能文会員 斎藤課長様、庄子委員長様、スピーチ宜しく願いします。

村上則夫会員 本日は、ゲストスピーカー柴田町役場商工観光課課長斎藤秀泰様、花のまち柴田のイベント開催実行委員会委員長庄子和彦様ようこそお出で頂きました、スピーチ宜しく願いします。

吉田茂会員 摂津ロータリークラブの方との親睦ゴルフにて、104回のスコアで優勝させて頂き誠に申し訳ございませんでした、有難う御座いました。

「花のまち柴田のイベントについて」 柴田町役場商工観光課 課長 齋藤英泰様



皆さんこんにちは、柴田町役場商工観光課の齋藤英泰と申しますどうぞよろしくお願いたします。

本日この様なスピーチの機会を頂いたことに本当に感謝いたします、今回ロータリーさんの本年度のテーマに気付いたのですけれども、「変化をもたらす」と言う事で、これから話をさせて頂く事で皆さまに何か変化があればよろしいのかなと思います、ただ限られた時間での話しになりますけれども十分なお話にならないかもしれませんがその辺はご了承お願いしたいと思います。

それでは、皆さんのお手元に資料を配布させて頂きましたけれども、柴田の観光とまつりと言う資料があると思いますがその資料に基づいてお話をさせて頂きたいと思います、先ず旅行と観光のイメージという事で、どのような目的で旅行とか観光に出かけるのか、就学旅行とか新婚旅行とか視察研修旅行とか友達で出かける事もありますし、或いは家族で或いは一人で出掛ける事もあります、目的については、美味しいものを食べに行こうとか、歴史とか自然というものを見て来たいとか、向こうの方に行って親睦を深めるとか、職場の旅行となれば懇親を深める、その様な目的があるのかなと思います、2ページ目をお開き頂きたいと思います、なぜ柴田町が今観光に取り組んでいるのかと云う話になりますが、先ず観光で人を呼び込むと、つまり今人口減少がどんどん進んでおります、その様な中で定住人口が減っている中で交流人口を増やす事によって、人を町にどんどん呼び込みながら少しでも経済効果を高める、その様な目的で今柴田町では観光と云うものに取り組みを行っております。

さて、柴田町の観光資源にはどのようなものがあるのかという事で、まず観光拠点となっております船岡城址公園、そして白石川堤の桜が先ず挙げられるかと思えます、また、船岡城址公園と白石川一目千本桜を結ぶ柴田千桜橋が平成 27 年 3 月に開通しております、これも観光資源と捉えております、NHKの大河ドラマ昭和 45 年に「樅ノ木は残った」が大河ドラマになりまして、その樅ノ木も観光資源に挙げられます、その様な観光資源のある中で、花のまち柴田という事で花をテーマにいろんなイベントを開催しております、その観光イベントとして、先ず桜まつりですけれども今大河原町と一緒に連携を組みながらイベントを開催しております、因みに去年の桜まつりについては 4 月 8 日(土)から 23 日までの期間で行われまして、船岡城址公園と白石川堤には 246,000 人の観光客が訪れたという結果が出ております、この桜まつりの中で新しい取り組みと云うのが少しずつ起きておりまして、先ほど紹介致しました柴田千桜橋の下に桜マルシェという新たなお店、いろんな飲食店が並んでおります、元々桜まつりと言いますと焼き鳥とか焼きそばとか言った物が定番だったのですけれどもやはり今ニーズが変わっております、お客様が焼き鳥とか焼きそばだけでは物足りないという様な事で、実はこのマルシェで出しているものは、地元の方が作っているメロンパン・カレーライス、或いはコーヒーとか、やはり今はインバウンド、後で話しますが、インバウンドに向けてその様な商品も必要だねと、逆に今の若い方々はこの様な焼きそばや焼き鳥もそうですが、今話した事にニーズが向いている事も確かです、その様な意味で時代の流れも感じながらお店を出すにしても考えて行かなくてはならないのかなと思っております、いまインバウンドの話をしてしまいましたが、ここ 3、4 年だと思えます、私も商工観光課になって 6 年目になるのですけれども、ここ 2、3 年インバウンドが増加しておりまして、因みに去年は外国人観光客は約 2,500 人が訪れています、この 2,500 人はどの様にして把握したのかという話になるのですけれども、これにつきましては、インバウンド用英語のマップを独自に作っております、このパンフレットを観光案内所の

船岡駅・船岡城址公園あるいは千桜橋下あたりでマップを配りますけれども、その時日本人は英語のマップは必要としませんから、あくまで外国人が持って行きますので、その配った枚数と大型バスも台湾あたりからどんどんチャーターバスが入って来ております、その台数とマップの数を合わせると大体2,500人の外国人が今大河原と柴田の桜まつりを見に来ているという事になります、たまたまイベントとして御神輿をしたところは非参加させてほしいと飛び入りで外国人の方も参加しながら楽しんで頂いたという様な事もありました、これからは桜だけではなくてイベントという事で初夏に紫陽花まつりを開催しております、場所は船岡城址公園なのですけれども、ここにも15,16年前に紫陽花を植栽した、それがようやく皆さんに楽しんで頂けるような状況になったと言う事で、これもお祭りにしております、昨年は6月16日～7月9日まで、約17,000人のお客様が見えております、また秋になりますと今度曼殊沙華まつり、この辺で言いますと彼岸花ですけれども、彼岸花と言いますとあまり祭りのイメージが良くないという事で、実行委員会の皆さんが曼殊沙華と言う名称でやりましょうと言う事で秋に開催しております、昨年は9月16日～30日までの開催で13,200人のお客様に楽しんで頂きました、この曼殊沙華まつりを開催するにあたりまして、やはり誰がこの彼岸花を植えてくれたのかと言う事で、私の隣に居ます方でその実行委員長に成っておりますが、庄子さんが仲間と一緒に船岡城址公園内に彼岸花を植栽してくれた、それがキッカケとなりまして今10,000人を超えるお客様に楽しんでもらえるイベントになっております、もう一つ秋に柴田菊花展柴田大会を開催しておりますけれども、これについては元々柴田町の観光協会が菊人形祭りを行っておりまして、しかし年々お客様が減って来たと言う事でその赤字が増えてしまい中止という事になりましたが、菊づくりをしている方々から町で出来ないのなら俺達でやるからという事で、菊づくりの方々が実行委員会を組織しまして継続して今でもこの菊花展と言うものを開催しております、期間中約7,000人のお客様に来て頂いております。続きまして、それでは冬は花があるのと言う話しになる訳なのですけれども、そこで始まったのがこのイルミネーション、実は平成23年の東日本大震災以降、船岡城址公園・船岡地区に山本町・亘理町から移住して来た方々が結構います、その様な方々に元気を出してもらおうという事で、このイルミネーションを船岡城址公園でやったらと言うようなきっかけで、実際は平成24年からスタートしております、それで入込数なのですけれども、実はスロッターと言う乗り物がありますが、船岡城址公園の中腹から山頂まで繋ぐスロープですが、その載っている人数ですが始まった当初平成24年はだいたい1,000人位の乗降数でした、ところが翌年は2,000人、更に翌年は3,000人とどんどんうなぎ上りで乗降者数が増えまして昨年は因みに7,000人の方に乗車頂いたという事で本当に桜に次ぐイベントになりつつあります、最後に早春のイベントという事でこれも終わったばかりですけれども、船岡城址公園の山頂でスプリングフラワーフェスティバルという事で梅畑も少し有るものですから、梅と音楽を楽しんでもらいましょうという事で山頂部分に於いてイベントを開催しております、しかし今まで四季折々のイベントを行っておりますけれども、イベントについては町あるいは観光協会が、いわゆる観光関係の方々が行うという事ではなく、イベントを行う実行委員会・植栽して頂いた方・観光案内をして頂いている方々・町おこしを何とでもしたいという若いバイタリティーのある方々、この様な方々も一緒になりまして実行委員会という組織を立ち上げまして皆さんで町だけではなくていろんな方々を巻き込んでイベントを開催していると云うのが段々広がりがある大きな原因なのかなと云うふうに捉えております。やはりこの様なイベントを開催するにあたりまして大事なものは、ボランティアの方々の参加が活躍には欠かせないのは間違いありません、最後になりますけれども、これからの柴田町の観光振興策と致しまして、単発の観光通過型から通年1年を通して柴田町・大河原町に滞在してもらおう観光にこれから切り替えて少しでも地元で経済効果が出る様なシステムと言いますか仕組みを創っていかなくてはならないのかなと思っております、また他町村との連携による広域観光ルートの形成という事で、今桜まつりについては連携しながらイベントを開催しておりますけれども、その他に皆さんも聴いた事があると思いますが、仙南の2市7町の他に亘理・山元・名取・岩沼も含めて仙南の4市9町で宮城インバウンドDMOと言う組織が立ち上がっております、つまり外国から観光客をどんどん仙南エリアに連れて来ましようと言う様な組織も立ち上がっておりますので、その様な中で連携を深めながら、ただ単に柴田・大河原に来るだけでなく、泊まるんだったら遠刈田温泉もあるし鎌先温泉もあるし、白石には白石

城もあります、この様ないろんな観光資源をお互い出し合いながら連携をして少しでも滞在してもらえる様な観光と云うものが必要なのかなと思っております、またただたんに船岡城址公園だけでなく町内を巡ってもらえる様なコースも必要にもなってきます、観光ボランティア・おもてなし対応の充実という事で、皆さんもよく観光地に行かれると確かに風景とかその様なものを見て素晴らしいと思うことだけでなく、美味しいものも食べます、その他に帰って来て心に残るのは観光地で巡り合った人のお話だと思います、その様な人とのふれあい・交流と云う様な事をこれからボランティア・観光ガイドの方々を中心に観光客の方々を暖かくおもてなしを進める事によって、また友達を連れて家族と一緒に柴田・大河原に来てみたいと云う様な体制を整えて行かなくてはならないのかなと思っております。特に目立つ観光としまして通年型・滞在型として今上川名地区と云う農村部の地区に今ホテルが戻って来ました、元々この地区は洗濯した排水とかお風呂の排水とかを堀に流してしまっていて、そのことでホテルがいなくなってしまう、その後合併処理浄化槽を皆さんが取り入れる事によって水が綺麗になった、その様な事でまたホテルが戻って来たという事でお祭りを開催することになっております、この様に夜のお祭りをやる事によって、将来的には農家が民宿、もしくは入間田地区には古民家を活用しながら民宿をスタートしたいと云う様な動きもありまして、間もなくスタートしますが、その様な滞在施設も整いつつもありますので、農村部でも観光の動きを勧めながら町全体でこれから観光客を誘客していきたいと考えております。

「花のまち柴田のイベントについて」

花のまち柴田のイベント開催実行委員会 委員長 庄子 和彦様



皆さんこんにちは、只今ご紹介ありました花のまち柴田イベント開催実行委員会の庄子と申します。今日は短時間ですけれどもどうぞ宜しくお願い致します。本日は樽見副会長さんの声掛けで、この様な伝統ある会にお招き頂きまして大変光栄に存じております、どうぞよろしく願いいたします。桜も間もなく開花宣言があるかと思ひます、昨日のニュースでは白石の桜開花宣言があったという事で、こここの大河原・柴田の桜もここ2、3日中には開花になるのではないのかなと思っております、大河原と柴田は白石川一目千本桜で大正時代からの繋がり、約100年の長い時が続いておりまして、元をたせば大河原の高山開治郎さんが大正12年に寄付をなされて、植栽をしてこの様になったという事でございます、現在では全国はもとより海外からもお客さんが来るというインバウンド時代に入って参りました。これからも二町手を合わせて、この大観光地を内外に広くPRをして守っていくのが我々の使命なのかなと思っております。

ここで少しだけ自己紹介ではありませんが、樽見さんとの縁がありましたのでご紹介申し上げます、実は出身が樽見さんも蔵王町、私も蔵王町出身です、同じ蔵王町にも30年に合併して円田村・宮村が合併したのですけれども、私の方は円田村の在の方で、樽見さんは宮の町の中心という事でございますが、私は農家の生まれで今はこの様な言葉は使わないのですけれども、本当の百姓育ちなのです、農作物と云えば全て豆から麦から芋からこんにゃく、そして養蚕もしていましたし、たばこも作っていました、あとは冬になると炭焼きをして、年がら年中忙しかったと云う思いが今も頭に残っております。樽見さんは墓石店を営んでいるのですが、私の実家の兄貴が樽見さんに長らく外柵等の工事でお世話になったと云う事もございます、兄は2年前に亡くなったのですが、それから樽見さんのお父さんにも大変お世話になりました、私も昭和41年から平成18年まで蔵王町の役場にお世話になりました、ここに出席しています津田さんにも仕事の関係で大変お世話になりました。その様な事でお父さんは平成7年今から23年前議長さんを永年しておられた時に私が議会事務局で大変お世話になりました、その様な関係も御座いまして団体の植栽記念碑を建てて頂いたという事もございます。

さて、私からは柴田の観光とお祭りは只今課長から詳細に全般的に説明がありましたので、私からは説明はしませんが、改めて紹介しますと皆さんもご覧になったかと思いますが此の3月に県政だよりで2ページに渡って四季折々の花が咲き誇る花のまち柴田としてご紹介されたところがございます、年間花を通して2か月に一回イベントを開催しております、先ほど話しましたが3月には春の梅などの花を題材にしてスプリングフラワーフェスティバル、そしてその後間もなく柴田は4月5日から桜まつりが始まり、6月には紫陽花まつり、9月には曼殊沙華まつり、10月から11月は菊花展、そして最後には冬の花をイメージしたイルミネーションという事で年間を通して計画をしております、また特に町民の方に花に関心を持っていただくという事で、広報などを通して年に数回、一般の町民から参加をいただいて花の植栽をしております、今話をした祭りの中で曼殊沙華まつりに関わってきました、この曼殊沙華まつりについてはボランティア植栽団体の独自の計画によって植栽され現在の祭りに繋がったという事がございます。その曼殊沙華まつりについて少しだけお話ししたいと思います、先ずこの花の特性ですが昔から田の畔とか土手にも咲いていましたがあまり目も触れなかったのですね、当時は花を眺めて楽しむという時代ではなかったのですね、その様な事でこの辺では彼岸花と言います、いわゆる生活で実用的に使っていたのですね、実は球根には軽い有毒性分があります、それを応用して田や畑の畔に植えて鼠やモグラを防いでいた、それからお墓などに大分植えております、これには理由がありまして、昔は今の火葬と違って土葬ですから、その様な事で土葬で埋めますので獣などに掘られないように彼岸花を植えたという事がございます、お墓に彼岸花が有るからイメージが悪いと云うのは日本だけで、アメリカやヨーロッパでは、非常に綺麗な花で昔から愛されています、ようやくこの頃曼殊沙華、花ブームになって大分好かれるようになってきました。この花の特性は一番管理しやすいという事で、冬生育する植物ですから、夏は草が伸びる時期に葉っぱが無くなって、冬草が伸びない時期に生育をすると云う事で非常に管理はし易いという事がございます、花の内容に付いて少しだけ話しますと、原産は中国です長江、いわゆる揚子江です、緯度的には32度33度ぐらいで日本で言いますと九州ぐらいの緯度です、ですから温暖な所を好むようです、この辺の緯度は38度ぐらいですから曼殊沙華については東北が限界という事がございます、日本海や北の方は寒さも厳しいし日本海などは雪で覆われますから育ちません、その様な事で彼岸花まつりをしているのは柴田町だけです、それなのでこれから有望だと思っております。

そこで花の植栽は、課長から話がありました通り、年間を通して花を進める中で秋の花が無かったという事で町からの声掛けもありましたが、私は白石川の傍に住んでいるものですから平成16年頃から暇を見つけては株分けをして増やしておりました、それから先ほどのピオンチャンオリンピックのノルディックスキーをご存知だと思いますが、これも健康と体力づくりという事で比較的新しい運動です、船岡には仙台大学がありますから、21年に指導を受けて私が代表になって、名称がさくらウォークス会員20数名で立ち上げておりました、年間を通して毎週朝6時から支援をしてウォーキングをしています、時間的には1時間から1時間半ぐらいです、そのさくらウォークですけれども、その方に話をしましたら協力しましょうという事で、独自に植栽計画を作りまして3年間で5万株を植栽しましょうという事で22年から始まったのがキッカケでございます、1万株と言いますと軽トラックで1台分ありまして準備をしながらかなり会員の方々からもご苦勞頂きましたが結果的には町の曼殊沙華まつりに繋がったという事がございます、その様な長年の会員の植栽に対して感謝をしたいという事で会独自で今回樽見さんにお世話を頂いて天空の花園曼殊沙華植栽記念碑という碑を建立しました、この記念碑を建立するにあたっては樽見副会長さんに特別の提供を頂いて3月に完成を致しました。やはり何事も目標と信念を持って行って行けば何時かは報われるのかなと思っております、最後になりましたけれども、今後の祭りの取り組みは、やはり今回で5回目を終わったのですけれども毎回見に来たお客様にアンケートを書いて頂いております、それでいろいろご意見を頂いた内容に付いては、皆さんといろいろ検討して対応しておりますが、その中に花はどうでしたかと言う質問があります、この内容は良かった・大変良かったと言う意見が80パーセント以上にもなっております、その様な事でこれを糧にこれからも益々花の充実を計って行かなくてはと思っております。見に来るお客様は花が最大の目的ですが、花もさることながら物を買ったり食べたりすることも一つの楽しみなのです、その様な事でこれからは物販を店や山お店で売るもの

については出来るだけ柴田町にこだわらないで仙南各町村に呼びかけをして出来るだけ旬の物或いはその町にしかない物をこれからどんどん取り入れていきたいなと思っており、それから一番は花ですので花の内容の充実です、25年以降は捕植をして花の充実を計っております、花を見たお客様は帰ってから誰かに話をします、あれは素晴らしかった等と話をします、それなのでひとつ目玉を創らないと上手くいかないなという事で27年から3年かけて、谷の反対側で非常に傾斜のきつい所ですが、そこに赤く咲く赤藤を計画しました、規模は下の幅は30m高さ12mでその植栽は10,000株植栽しました、これからの名所にしたいなと思っております、実は去年で3年目葉の内容もかなり良かったのですが16日から祭りが始まりましたが、ご存知の通り17日から台風18号が来て非常に強い風が山に吹きまして大分花も折られてしまいました、今年は4年目ですのでかなり花の状態も良いのかなと思いますので良い花を見られるのかなと思います、是非花祭りにはご覧になって頂きたいなと思っております。曼殊沙華は東北が北限と言われております、東北には曼殊沙華まつりを行っているところは柴田町だけです、全国では埼玉の日高と云う所に日本一の彼岸花の観光地があります、東京にも近いのでこの祭り期間に50万人位見に来られます、その際に臨時に屋台とか店が10店ほど出店します、その様な事で私たちの方も是非その様な祭りに出来ればなと思っております。とりとめのない話になりました、そして短い時間ではありましたがご清聴ありがとうございました。



ゲストスピーチとしてお話しを戴きました、柴田町役場商工観光課課長の斎藤英泰様(右)、そして花のまち柴田のイベント開催実行委員長の庄子和彦様(中央)、大変お忙しいところ有難う御座いました。